

令和5年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	「地域資源」の学習を継続的・持続的な「探究」へと支援・発展させるためのアーカイブの収集と体系化
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 自然・生活教育学系 教授・光永伸一郎 (学内共同実施者職名・氏名) 自然・生活教育学系 准教授・谷友和 人文・社会教育学系 准教授・橋本暁子
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市企画政策部 上越市創造行政研究所 (担当者職名・氏名等) 副所長・内海巖
4 事業の趣旨・目的	<p>「地域資源(特徴的な自然・歴史・文化など)」には各教科に関わる内容が多く含まれており、それらの理解や教科横断的な学びを深めるための教材としてふさわしいと考える。そこで、上越地域の「地域資源」に関わる情報を収集し、教科内容の視点から体系化することで、その学習を継続的・持続的な「探究」へ支援・発展できるようなアーカイブを創出する。</p> <p>身近な「地域資源」についての「探究」を通して、各教科内容の理解を深めることはもとより、児童・生徒は、シビックプライド(地域への誇りや愛着、当事者意識)を高めることができると期待しており、それが若い世代によるまちづくり推進等の地方創生につながるものと考え</p>
5 事業活動報告	<p>上越地域の「地域資源」についての調査・研究・勉強会を行い、関連の情報を収集した。勉強会(ゼミ活動)については、本学教員、地域住民等の参加のもと、専門家による講演を交えた形式で3回(3月予定の1回を含む)行った[写真:2月開催時のチラシと勉強会(ゼミ活動)の概要]。</p> <div data-bbox="478 1164 813 1657"> </div> <p>はしっこラボ2023 ゼミ活動</p> <p>このエリアの共通課題をもとに3つのテーマを設定しました。各テーマについての取組経過の学習や参加者同士の意見・情報交換を通じて、これまでの取組の意義や課題を共有し、これからの地域の発展・実践につながるアイデアを提示することを目的とします。</p> <p>隔月1回を目標に、公開講座の開催日に合わせて対面での活動を行うほか、メール等での情報交換を行う予定です。毎回出席できない方も、関連する情報やアイデアの提供などに協力いただける方は、ぜひエントリーしてください。</p> <p>コース 地域ならではの特徴を学べるデータベースづくり</p> <p>この地域(信越県境エリア)には自然、食、文化など多様な魅力が詰まっています。これらの地域資源に関する情報(特徴など)を整理し、地域づくりや学校教育に役立つデータベースとすることを目標とします。これにより、この地域への愛着・誇り(プライド)や魅力(ブランド)が言葉にしっかりとけこんでいきます。既にご存じの情報も提供いただいたり、調査・編集へのご協力をいただくなど、皆さまのお力をお貸しください。</p> <p>コーディネーター 光永 伸一郎(上越教育大学) 2023年度登録メンバー 13名</p>
6 本事業で得られた成果	収集した「地域資源」に関する情報については、教科内容的、教科横断的視点から体系化し、書籍「越境アプローチによる地域学習のすゝめ～信越県境エリアの地域資源を素材とした教育レシピ集～」としてまとめた(3月出版予定)。そこに示された教材を、小・中・高等学校の授業実践に導入することで、「地域資源」の学習を通して、教科内容の理解や、教科横断的な学びを深めることができると考える。
7 その他(成果物等の名称)	書籍「越境アプローチによる地域学習のすゝめ～信越県境エリアの地域資源を素材とした教育レシピ集～(3月出版予定)」